

「(仮)うつのみや環境パートナーシップ会議」の名称について

(1) 名称決定までの流れ

- ・ 第7回設立準備会
これまでに提案された幾つかの名称(案)を参考に基本的な考え方を整理
- ・ 3月3日事務局提出期限
提出された案に基づき、委員にアンケート実施(3月8日提出締め切り)
- ・ 3月10日広報紙原稿提出
アンケート結果に基づき、5つの名称(案)に絞込み
- ・ 3月中旬(設立準備会 事務打ち合わせ会)
名称(案)の報告、会員募集、設立総会の準備などについて協議
- ・ 4月1日(名称案については、4月15日締め切り)
広報紙、市のHPにて会員募集と併せて名称について公募する旨を掲載
会員募集及び名称公募に係わるパンフレットの配布
(地区市民センター、小中学校、事業者など)、
- ・ 4月中旬
事務打ち合わせ会の中に選定委員会を設け名称を決定
- ・ 6月5日
名称提案者を総会で表彰

(2) 基本的な考え方(例示)

この会の活動内容がわかり、市民が愛着を持てるわかりやすい名称とする。

略称で呼べたり、英語表記しやすい名称とする。

うつのみやの環境に関して、多様な人々が係わり、さらにそれらの人々が活躍できる場、空間をイメージできる名称とする。

(3) 公募イメージ

(仮)うつのみや環境パートナーシップ会議の名称を募集します。

新たに名称をお考えいただくか(例1)、下記の中から番号を選び記入(例2)して下さい。

例1 うつのみや環境フォーラム 例2 _____

【例】環境パートナーシップ設立準備会における提案

ちきゅう ハートフル会議 うつのみや 環境うつのみやパートナーシップ
エコシティ・うつのみやネットワーク エコネット・みや
うつのみや環境プラットフォーム

(3) 名称提案

「ちきゅう ハートフル会議 うつのみや」

「環境 ハートシップ うつのみや」

「かんきょう エイド うつのみや」

「環境 はあとナーシップ会議 うつのみや」

「環境 はあとネット会議 うつのみや」

【コメント】参加する人たちの「地球を愛するという心のこもった会議」になることを願う気持ちから考えた。

環境うつのみやパートナーシップ (愛称 E - UP)

【参 考】(E Envioroment , Ecology, U Utsunomiya , P Partnership)

エコネット・みや

エコネット・うつのみや

エコネット・宇都宮

ECO-NET・MIYA

Ecology-Network・UTSUNOMIYA

【コメント】親しみやすい名前，略称や英語表記しやすい名称がよい。

ありふれた名前かもしれないが，逆に各自治体にエコネット・サミットを呼びかけることも可能になる。

エコシティ・うつのみやネットワーク

うつのみや・エコシティネットワーク

うつのみや・エコプロジェクト共同体 (協同隊)

うつのみや環境プラットフォーム

Uプラットフォーム

うつのみやエコ・プラットフォーム

【コメント】プラットフォーム (platform) とは，英語辞書によると“壇，教壇，プラットホーム，電車などの乗降口，(コンピュータの) 基盤”などという意味がある。

ここでは，「宇都宮の環境に関して，多様な人々係わることのできる乗降口 (入口) であり，さらにそれらの人々が活躍できる場，空間」というような考え方である。